



私のいちおし本 「八月のひかり」

著者 中島 信子 著



選者：文化センター図書室 司書 多田 愛美

子ども向けで、夏のタイトルと言えば、戦争に関するお話かと思いますが、この作品は、まったく違います。

これは、現在の日本の社会問題のひとつとなっている【児童の貧困】がテーマの作品です。物語は、主人公である小学5年生の美貴の8月6日～8月14日までの夏休みの風景を描いています。美貴は、働くお母さんのかわりに、料理や洗濯をして、弟の面倒を見ながら、毎日を過ごしていました。ご飯は満足な量を食べられず、遊びに行けなくても、家族を支える美貴の姿に、健気さや悲しみを感じて、心を打たれます。

児童文学ですが、大人の方にこそ注目して頂き、ぜひ読んでほしい1冊です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

{一般}

うちの父が運転をやめません
垣谷 美雨 著

高齢者ドライバーの事故を伝えるテレビニュースを見た雅志は、父親も78歳になることに気づく。不安になって、父親に運転をやめるよう説得を試みるが…。親の運転をきっかけに家族が新たな一歩を踏み出す、心温まる家族小説。



{児童}

やさいのおにたいじ
つるた ようこ 作

お屋敷に住むかぶのお姫さまが、東の山のおそろしいこんにやくいもの鬼にさらわれてしまいました。助け出すべく立ち上がったのは、知恵と勇気のある6人の野菜たち。いざ、鬼退治へ！



その他の新刊

{一般} 空気を読む脳

中野 信子 著

こまったさんのレシピブック

寺村輝夫レシピ原案

{児童} 失敗図鑑

大野 正人 作

ゴミの島のサバイバル

ゴムドリ CO. 文

【文化センター図書室】

{一般}

イマジン？
有川 ひろ 著

憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。専門用語が飛び交う慣れない現場であたふたする良助だったが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦がれるような思いを募らせ…。



{児童}

きらきらもりでまってるよ！

矢部 美智代 文 にき まゆ 絵

野原のまんなかに通っている1本の線路。こぐまのくるんは、友だちのころころと、きらきらもりで遊ぶ約束をしています。おかあさんと作った焼きたてのパンをふくろいっぱいにつめて、列車に乗り込みますが…。



その他の新刊

{一般} 活動寫眞の女

浅田 次郎 著

清く貧しく美しく

石田 衣良 著

{児童} それしかないわけないでしょう

ヨシタケ シンスケ 著

ルナのたまごさがし

たなか 鮎子 作・絵